

市民の意見を聞く会 総括

テーマ「三好市のいいところ・課題」

1. 自然・環境

□自然が豊か・環境がよい

- 吉野川／紅葉温泉／みかん／滝／かずら橋／大歩危小歩危／箸蔵山／石光山／落合／祖谷／山城／桜／多美山の滝／森林／下影の棚田／多比大師／御来光の滝／水／多美山・腕山／ホテル（西井川、星川谷）／みのだの景観／剣山／祖谷川
- 登山に良い山が沢山ある／山が美しい
- 自然が美しい／風景がきれい／自然がたくさん残っている／星が美しい！／紅葉が美しい／福寿草群生、岡崎家の石垣
- 資源が豊かで都会ではできない遊びができる
- 春になると多くの山菜が取れる（ウド、タラ、モミジガサ）
- 水がおいしい／川・谷の水がきれい／酒がおいしい
- 秘境の湯がある
- 災害が無く住みやすい／騒音がない／夜が静か／犯罪がない（少ない）
- 龍ヶ岳／鳶の巣溪谷、桧の滝／祖谷溪谷／秘境
- 四季が豊かな地域／都会には無い自然
- 野菜が新鮮

□観光資源、文化・芸能資源が豊富

- 歴史的文化が深い／三好長慶／箸蔵寺／雲辺寺／山荘風景／井内中家の祭／八ツ石城／平家塚／賢見神社／田尾城／塩塚／神代踊り／襖カラクリ
- 健康とふれあいの森／道の駅／スキー場／イカワ X パーク／標高 700m まである民家／たばこ産業時代の民家／阿波池田たばこ資料館／古民家／吉野川でのラフティング
- 伝統文化、民族芸能に富んでいる／文化遺産に恵まれている
- 三野は昔、港があり三好の入口だった
- 四国の中央に位置し交通の便が非常に良く人の交流が良い
- 学べる町（鉄道、水、橋、お寺、建物）、町自体が教科書
- 山城町内には全域に妖怪伝説が残っている
- 三好市まるごと「四国のへそ」として観光産業を進めて欲しい（四国西部ではない）
- 祖谷地方には平家伝説を初め多くの伝説・文化がある
- 西祖谷には 25 のお堂がありお堂巡りをおすすめする

- 西祖谷には多くの民謡が歌われている、祖谷甚句、祖谷のかずら橋／阿波の民話によく出ている祖谷の源内さん（魔法使いの源内さん）
- 平家落人伝説や江戸明治の商家が残る「うだつの町並み」などの歴史・文化遺産を有している地域である
- それぞれの地域に歴史・文化等が残る

□自然の荒廃、山の荒廃が問題である

- 自然を活かしきれていない
- 山の手入れができていない／杉が多い／杉、桧が多く見晴らしが悪い
- 景色を良くするため一守からかずら橋までの杉をきればきれいになる
- 猿、猪の害が多い
- 合併で人口は大幅に減った町の中も猪や猿が出るようになったので、逆手にとって獣街道を作ってみたらどうか

2. 人・コミュニティ

□古き良きコミュニティ・人間関係がある

- 世代間のタテの関係がしっかりしている
- 人情がある／人柄が良い／親切で優しい／思いやりがある／温かみがある／人との繋がりが有る／住民同士の深い交流がある／地域住民が顔見知り
- 団結力があり住みやすい／人口移動が少なく、皆友達／お互いが協力し合う
- 子供たちが素直で挨拶ができる
- 他人のことを気にしてあげることができる
- 力を持った高齢者の意見、技術を聞くことができる（高齢者の技術が健在）
- 高齢者が元気（特におばあちゃん）
- 踏襲、世襲を守りコツコツ働く

□人材の育成が大事

- 三好市の外に出た人にもまちづくりの課題を聞くべき／ふるさとに役立ちたいと考えている人は大勢いるのでは
- 地域のリーダーを育てていく事が大事
- 子供の頃から郷土愛を育てる必要がある
- 立ち上げようとする心の育成

□地域活動への参加は活発である

- 地域の人が集まる集会所が必要では？
- 地域活動が楽しい
- 公民館活動ができる
- 西祖谷ではボランティア活動をする人は少ないように思う

3. 住民と行政の関係、合併による変化

□合併してもまだ三好市としての一体感に乏しい

- 市としての明確な目指す構想がない
- 市ではなく、三野としてのエゴ意識が強い
- 旧三好郡としてのまちづくり（が必要では）
- それぞれ6町村で特色があるので市としてそれを活かす工夫をして欲しい
- 面積が広いためまとまりにくい
- 各町村が三好市の一員だという自覚と責任を意識する
- 旧町村の意識が抜け切れていない／合併しても旧町村のようなやり方でやっている
- 市長、市会議員、市民一体となって（心を1つにして）発展目標を設定し、具現化に取組み実行する
- 旧町村の長所を伸ばし、他の地域に生かせる点は広めて行くことで、市全体のレベルアップに繋げる

□合併によってかつての地域の個性がなくなっていく

- 町村単位の祭事が小さくなってきた／補助金が減った
- 積極的にお祭りに参加する（べき）
- 旧町村に元気が無くなった
- 地元愛が少ない地域だと思う

□合併によって市民と行政の距離が離れつつある

- 細やかな行政との繋がりが少なくなった
- 住民の声を行政に反映させるための方法が必要
- 住民の声が行政に届きにくくなった（議員の数も少なくなった）

□総合支所が市民と行政の接点である

- 支所は何人が妥当か
- 支所の職員が減って地元の経済に影響がある

□自治会組織の見直しが必要

- 自治会長の役割がはっきりしていない／自治会長は自治会のまとめ役という意識を変える
- 市報を配るだけの自治会長は駄目

□合併によって市民サービスが低下しつつある

- 会議など池田まで行かなければならない／市役所の用事に手間がかかる
- 市役所のサービス低下／役所の窓口が縦割りである
- 日曜休日も住民票等が取れるようにしてほしい
- 市域が広がり手続きが便利になった
- 公共料金が上がった
- 市の住宅となり高額となっている所がある
- 保育所の不足？

□合併して良かった点

- 合併して便利がもっと悪くなるのかと思ったが今のところまだ感じられない
- 合併して、他の町村の良い所悪い所が見えてきた
- 合併して市域が広がったことで手続書類の扱いが便利になった

□公民の協働が大切

- 今は行政のカバーを住民がしているが、10年、20年先が不安
- アイディアがあっても誰がやるかが課題
- 市民の責任と自覚が乏しい、行政におんぶに抱っここの受け身ではいけない
- 市職員の（公僕としての）自覚の教育が先
- 豊かで住みよい地域を築いていくには、市民と行政が対等なパートナーシップのもと、目的や情報を共有するとともに、お互いが役割と責任を認識し、助け合いの精神を持ってまちづくりを推進していく必要がある
- 住民主導の地域コミュニティ作り
- 市民の持てる力をうまく活用する。市民が関わることで、まちづくりに対する市民としての責任感も生まれる

- 一人一人が市民としての自覚と責任を持つ
- 市民が考えて、地域を守っていく取組みがあつて、初めて主役になりうるが、上意下達の「市民が主役」ではどうなのかと思います
- 住民と行政との緊密なるコミュニケーション作り、各地区（6地区）住民の代表者との定期的な協議会設置

□行政の効率化

- 市の補助金、助成金の出し方、使い方が市の経済を潤すようになっていないのではないか
- 人件費の削減が必要
- ごみ収集は民間へ委託すべき。収集車の運転手は何もせず、もう1人がごみを積み込んでいる
- 色々聞いても何も知らない臨時職員が多すぎる
- 財政の健全化（職員の削減、総合支所の見直し、給与カット等）
- 議会改革（議員定数の削減、14人に、議員報酬大幅にカット）

4. まちづくり・地域活性化の課題

□山間地で不便なこととよいところがある

- 四国の中央で交通の便が大変良い
- 開発の余地がある土地がまだ残る／平地が広い／日当たりが良い
- 車が無いと移動手段がない
- 道が狭い／交通の便が悪い／バスの本数がもう少しだけ増えるといい
- 山間部での生活ができない
- 役所に近い所は良いが、山間地域は十分でない

□少子化で若者が減っている

- 子供が少ない／学校が休校になっていく
- 若い人が定住できる仕事、場所が必要／雇用が必要
- 求人しても若い人は来ない！／若者の意識を変える必要がある
- 若い人が祖谷に定住できるような住宅政策をして欲しい
- 土地はあるので、外から人が入ってこれるようにしたい（Iターン）
- 産科が市内にないこともあり、若者が安心して住めない状況では
- 自治体がリーダーシップを発揮して若者が地元で生活のできる魅力ある雇用の場の創出が急務
- 若い者が働ける工場を作って欲しい

- 第一生産者と製造業種が少ない（若者の働く場がない）

□過疎化と高齢化

- 人口の減少（他の土地への転居が多い）
- 仕事が限られている（公的機関、介護、土木関係）／職場が少ない
- 若い人の働く職場が少ない／若い人たちの仕事場を増やして欲しい
- 若い人が働く所が少ないけれどシルバーの仕事はある程度あると思う
- 空き家が多い／畑などの荒れ地が多い／一人暮らしが多い
- 高齢者に優しいまちづくりをする
- 医療施設が不十分／医療機関が整っていない／病院へ行くのに不便
- 高齢者が外に出られず、近所の繋がりがなくなってきた
- 移住希望者への情報が少ない
- 銀行の ATM が無い（西祖谷）
- 町内に医院が 1 軒しかない
- 若者が住みたいと思えない（仕事、住宅）、したがって高齢者だけが残る
- 一人暮らしが 3200 人と聞いたことがある。今から（対策を）考えておくべき

□商店街の活性化が課題

- 人が集まるような何かが必要／買い物をする場所がない／商店が少ない／交通の便が良く、買い物で市外・他県へ出ていってしまう
- 若者が起業できる環境づくりをして商店街の活性化に繋げるべき
- 活気がなくなった、19 時過ぎると真っ暗になる
- 活気のある町にしたい
- 中心地の商業が十分に活かされていない
- 市街地の開発が必要
- 地産地消が十分に出来ていない
- 池田町が市の中心となるべきと思うが、池田町に活気が無いと思う。プレスポ等形としては出来ているが、市民一人一人に活気が無い

5. 政策課題

□観光行政の課題

- 観光地に行くのにまだまだ不便／観光客の受入が充分ではない
- 公共交通機関が不便

- 観光地が偏って紹介されている
- 食堂・レストランが無い／宿泊施設が少ない
- 三好市をもっとアピールすべき
- 「道の駅」のような集客施設が欲しい／特産物を売るマルシェ（市場）をつくる
- 三好市の「うまいもの」コンクールをする
- ご当地演歌で市のPRを！
- イベントが少ない／予算が縮小し、イベントも縮小している
- スキー客が減少傾向
- 市民は良い所を気にしていない／地元のことを知らない
- ラフティングで落ちたお金はちゃんと市に入っているのか？
- 地元の子供たちにもラフティングを体験させたい
- ラフティングはいいが漁師が迷惑していると聞く
- ラフティングが来て道路の痛みが激しくなるのではと心配
- 小さい温泉はあまりPRしすぎると本当に必要な人が使えなくなるのでは？
- 広いために取り残されている所と、活動が活発な所の差が目立ち始めているように思う
- 自然を破壊する（観光）だけではなく、地域の人が集まれる場所が必要では？
- 観光事業所のまとまりがない（妖怪井などは1箇所では食べられない）
- 妖怪ばかりで塩塚が利用されなくなった
- 塩塚の冬季利用が出来ていない
- ラフティング産業にもっと力を入れる
- 新たな観光スポットを考えるべき／既存の名所にこだわる必要はない
- 観光スポットをもう少し増やして欲しい
- 祖谷は観光地であるのにどの道筋にもごみの山でいっぱい／ごみが多い（ポイ捨て）
- 観光地として美化に力を入れるべき
- 菅生さんの横の道路、駐車場にトイレを置くか、缶拾いをボランティアでしてもらうべき
- 冬にどうすればお客さんが来れるか、雪への対策が不十分（標識）
- 市民大学にもっと参加してもらい三好市を深く知ってもらうことが大切
- 町のパンフレット（おもしろマップ）を作って色々な所に置いて欲しい
- 観光案内板を多く作って知ってもらうこと（が大切）
- 観光客が長時間三好市で過ごしてもらえるようになったら良い
- 鳶の巣溪谷などインターネットに載せると良い
- 祖谷ラフティング、井川のスキー場など観光資源を外へ向けてもっとアピールを
- 観光資源がせっかくあるので、県外のお客さんと呼んで欲しい
- 観光立市（ポイ捨て禁止条例作りなど）

□ イベント・催事の課題

- 小さくても良いので販売所が欲しい

- 三好市が中心になったスポーツ大会がない、お年寄りも参加できるイベントをやって欲しい
- 冬の間のイベント！（が無い）
- 山城祭には山城の子しかいない、池田以外は同じ。子供が他地区にも行くような祭にしたい
- イベントをやってても地元の人が参加しない
- 外からの観光客だけではなく市民が集まれる所、イベントが欲しい

□行政の方向性や政策課題

- 上水道が整備されていない地域がある
- 西祖谷に役場の建設課がない
- 大歩危トンネルの工事開始
- 限界集落における福祉的な支援
- 銅山川の水が少ない／祖谷川の水が少ない（ダムのため）
- 土木工事が自然とマッチしていない
- 市営バスの一体化
- 観光に過度に期待しすぎるのは安定性がない／第一次産業振興にもっと力を入れるべき／林業の活性化
- 道路の管理をきめ細かくやってほしい（除雪など）
- 標識が整備されていない所があり、事故が多い
- 崖崩れなど傾斜地への対応が不十分／なかなか順番が来ず放置されている
- 雨量が多いと洪水が心配（木の掃除まで手が回らない）
- コンクリート舗装したのはいいが雨が降ると水が出る（畑が流される）
- 予算額が多い割に活気がない
- 条例についての説明をもっとしてほしい（内容、手続き等）
- 屋外への緊急放送施設がない地域がある
- 市街地から山間僻地と多様で広範囲な地域特性がある市として、どこで生活しても安心できるまちづくり（が必要）
- 三好市で住み続けたい、三好市に帰ってきたい、三好市に来たいと思える環境整備（就労、教育、交通、医療等）
- 社会人になった後も生まれ育った三好市で暮らしたいと思えるまちづくり。働く場所がある。文化的な活動体験ができる。子供を安心して育てられる。年老いても生活できる支援が受けられる
- 人口が少なくても、住んでいる人が幸せに思える地域作り。住んでいて自慢できる三好市、行ってみたい自然がある三好市
- 地域の実態を把握し、それぞれの地域に即した施策を実現し、皆が安心して暮らすことのできるまちづくり
- 三世帯が同居できる町づくり
- 高齢者対策（緊急通報、交通手段等）

- 少子化、高齢化で人口も減り音楽ホールより、地震、災害に備えるべきと思います。仮設トイレ、毛布など、地域や自治会任せにしないで市で準備して欲しい
- 自然環境を活かした全国に誇れるまちづくり
- 多彩な資源をどう活かしかれるか？（市民が協働のまちづくりを実感できる具体的な取組みをいかに仕掛けていくかが今後の課題である）
- ケーブルテレビをもっと活用して、議会の仕事ぶり、市民が参加できる行政、防災対策などとして欲しい
- 他の自治体にできない一つに絞り実施すること（特産づくり）

条例に盛り込むべき内容（市民アンケートより）

- 6 地区の交流を大切にする
- 各部落ごとの部落会を年間を通して行なうことを条例化して、人と人との絆を深くする
- 地区ごとに特徴を持ち協力と助け合いができる町づくり
- タバコのポイ捨て禁止。道路整備。無駄をなくす条例。きれいな町づくり
- 議会の傍聴参加、議員さんとの市民対話
- 市民意思確認の最終的手段として、市民投票も規定すべきだ。議会制民主主義を補完する制度として捉え「市長はまちづくりに関する重要な事項について、市民の意思を直接問う必要があると認めるときは、市民投票の制度を設けることができる」とする
- 条例が有効に機能しているかをチェックするため、施行後5年を超えない期間ごとに見直しを行なっていくことも明記すべきだ

※まとめは、市民の意見を聞く会が出た意見と、市民へのアンケートからの回答を総括したもの。

- がアンケートの回答を示す